

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」・第2回ワークショップの開催概要

- インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」では、地方自治体（施設管理者）のインフラメンテナンスに係るニーズや課題に対し、民間企業のシーズ技術のマッチング等、解決の方向性を模索・検討する場として、**ワークショップ**を開催
- ワークショップには、施設管理者と様々な業種の企業等が参加し、テーマ毎に「施設管理者の課題説明」や「企業等による技術の紹介」「課題解決策の提案」等について、活発なグループ議論が行われました

- 日時：令和2年1月29日（水）14:00～16:30 ■場所：海技試験場（広島合同庁舎4号館 附属棟）
- テーマ：「橋梁点検の効率化」や「プラスチック貯留材等を活用した仮設盛土の代替工法」等の4テーマ
（施設管理者から提供されたテーマから参加希望者が多いものを選定）
- 出席者：約60名（施設管理者：島根県、津山市、下関市／民間企業等23社）

○開会挨拶



フォームリーダー 藤井 肇
（広島大学名誉教授）

○講評



メンター 宮本 文穂
（山口大学名誉教授）

○閉会挨拶



中国地方整備局 企画部
事業調整官 藤原 博明

○グループ討議



施設管理者
企業
ファシリテーター・書記

▲テーマNo.1：構造物の老朽化を非破壊・非接触で診断できる技術



施設管理者
企業
ファシリテーター・書記

▲テーマNo.3：下水道施設の硫化水素による劣化腐食対策

○施設管理者の感想

- ▶ 新技術の導入を検討するにあたり、自らの知識が不足していることに改めて気付いた
- ▶ 既存技術を取り扱っている企業から詳細な説明を聞くことで、活用の可能性等を知ることができたことから、有意義であった

○民間企業の感想

- ▶ 異なる技術を持った民間企業同士で情報交換を行うことができ、有意義であった
- ▶ 施設管理者が抱える課題を詳細に聞くことができ勉強になった
- ▶ 自社だけでは解決できない課題も他分野の企業と連携することで課題解決できる可能性を感じた

○グループ討議の結果発表



▲テーマNo.2：橋梁点検の効率化

